

周産期低酸素症の予防に関する研究

総 括 報 告 書

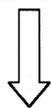
前 田 一 雄

周産期酸素症すなわち胎児、新生児の低酸素症は、児あるいは母体の色々の病態と関連する重要な異常であって、児の短期のみならず長期予後にも重要な影響を与える。

本研究班では産科、小児科の両面から胎児、新生児の低酸素症の原因、病態、診断、治療、予防およびその効果について研究をすすめた。

本年度は、前田が胎児心拍数陣痛図、その自動診断やトレンドグラム、超音波ドプラ胎動計の使用による胎児低酸素症の総合的診断、およびその効果について報告した。中野は、超音波パルスドプラ法により正常胎児の中大脳動脈と臍帯動脈の血流速度の計測を行ない、今後の低酸素症診断のための基礎研究を行った。千葉は、多数の心疾患合併妊婦の経験から、母体心疾患が胎児に及ぼす影響、母体、児の予後を詳細に報告した。武田は、IUGR例の臍帯動脈血ガス分析、出生後の血糖測定を行ない、低酸素負荷に対する糖質代謝の特徴について検討した。佐藤は、低酸素症胎児の娩出時期決定要因の1つとして胎児の活動及び静止期の胎児心拍数の細変動の大きさの変化を検討した。戸苺は、小児科の立場から半導体レーザー光を幼若家兎頭部に照射し脳内酸素代謝のモニタリングを行う装置を試作し、基礎実験を行った。

いずれの研究者も本年度は基礎的研究が多いが、周産期低酸素の予防、早期診断、治療、予後改善に向けて研究中である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



周産期低酸素症の予防に関する研究

総括報告書

前田一雄

周産期低酸素症すなわち胎児,新生児の低酸素症は,児あるいは母体の色々の病態と関連する重要な異常であって,児の短期のみならず長期予後にも重要な影響を与える。

本研究班では産科,小児科の両面から胎児,新生児の低酸素症の原因,病態,診断,治療,予防およびその効果について研究をすすめた。

本年度は,前田が胎児心拍数陣痛図,その自動診断やトレンドグラム,超音波ドプラ胎動計の使用による胎児低酸素症の総合的診断,およびその効果について報告した。中野は,超音波パルスドプラ法により正常胎児の中大脳動脈と臍帯動脈の血流速度の計測を行ない,今後の低酸素症診断のための基礎研究を行った。千葉は,多数の心疾患合併妊婦の経験から,母体心疾患が胎児に及ぼす影響,母体,児の予後を詳細に報告した。武田は,IUGR 例の臍帯動脈血ガス分析,出生後の血糖測定を行ない,低酸素負荷に対する糖質代謝の特徴について検討した。佐藤は,低酸素症胎児の娩出時期決定要因の1つとして胎児の活動及び静止期の胎児心拍数の細変動の大きさの変化を検討した。戸苅は,小児科の立場から半導体レーザー光を幼若家兎頭部に照射し脳内酸素代謝のモニタリングを行う装置を試作し,基礎実験を行った。

いずれの研究者も本年度は基礎的研究が多いが,周産期低酸素の予防,早期診断,治療,予後改善に向けて研究中である。